

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（西武地区）第3回会議
開 催 日 時	令和元年10月24日（木） 午後7時00分 開会・午後9時10分 閉会
開 催 場 所	西武公民館 2階 大会議室
議 長 氏 名	吉田賢紀会長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（西武地区）委員 岩崎秋親、佐藤秀忠、島根雄樹、清水正二、鈴木憲之、關山啓二、 染谷英俊、田中崇司、中島克巳、長澤ゆかり、幡野敏彦、樋口秀 男、平岡武、平岡芳太郎、峰崎玲子
欠席委員(者)氏名	高橋和久、築地芳枝、不破誠、宮西瞳、横山勝典
説明者の職氏名	総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (1)西武地区 学校統合地区検討会議について ・事務局説明 ・質疑応答 (2)第3回会議検討課題 ①統合の理由に関する事項 ・事務局説明 ・質疑応答 ②通学上の課題に関する事項 ・事務局説明 ・質疑応答 (3) 次回検討事項説明 4 閉 会  公 開
非 公 開 理 由	なし

傍 聴 者 数	8名
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武地区 学校統合地区検討会議について</li> <li>・資料3-1 統合の理由に関する事項</li> <li>・資料3-1別紙 平成31・令和元年度 中学校部活動設置状況表</li> <li>・資料3-2 西武中学校と野田中学校の統合場所として西武中学校を選択した理由</li> <li>・資料3-3 通学上の課題に関する事項</li> <li>・資料3-4 西武中学校通学路安全マップ、野田中学校区安全マップ（交通上）・（防犯上）</li> <li>・入間市防災マップ&lt;西武地区&gt;</li> <li>・入間市防災ガイドブック</li> </ul>
関係部局職員氏名	<p>教育部部長 新見輝明  教育部次長 関谷佳代子  教育部参事兼学校教育課長 北野晃  教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二  教育部教育総務課課長 鹿山泰隆</p>
事務局職員職氏名	<p>総務部部長 田雑弘章  総務部次長 徳山寿行  総務部参事兼公共施設マネジメント推進課課長 浅見泰志  総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 平沼宏之  総務部公共施設マネジメント推進課主幹 増田暁伸  総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士</p>
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

1 開会(午後7:00)

2 会長挨拶

3 議事

(1)西武地区 学校統合地区検討会議について

- ・事務局説明
- ・質疑応答

(2)第3回会議検討課題

①統合の理由に関する事項

- ・事務局説明
- ・質疑応答

②通学上の課題に関する事項

- ・事務局説明
- ・質疑応答

(3)次回検討事項説明

4 閉会(午後9:10)

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1)西武地区 学校統合地区検討会議について</p> <p>今、この学校統合地区検討会議の検討課題について説明したが、事務局の方から一点追加を考えている。それは先程挨拶でも申し上げた台風の災害対応、特に避難所についての問題が浮き上がってきた。その点については分類表の3番のところに防災対策として、これまで土砂災害や河川増水時の安全対策ということがあるが、あわせて台風19号を教訓とした避難所のあり方ということについては、課題として意見を伺いたいと思っている。それについては、次回以降、分析した資料を用意し、議題としたいと思う。</p>
委員	<p>(2)第3回会議検討課題</p> <p>①統合の理由に関する事項</p> <p>先程、西武中学校から1.5km圏内に生徒の7割が在住しているとの説明があり、残りの3割は統廃合によって遠くなってしまいう生徒だと思うが、2km～2.5kmだと何人、2.5km～3kmだと何人というのは検証したのか。</p>
関係部局	<p>昨年度の資料作りの中で、西武中学校に在学している生徒がどこに住んでいるかという形で作成したところ、西武中学校から1.5km圏内に約7割の生徒が住んでいることが分かった。その中で示した数字であるため、2km～2.5kmに何人住んでおり、2.5km～3kmに何人住んでいるのかということについては現在資料を持っていない。</p>
委員	<p>これは大人が考えている計画である。現在の生徒達はどのように考えているのかが疑問である。生徒達は統廃合について、どのような思いを持っているのだろうか。中には野田中学校があるからいいという子もいるだろうし、西武中学校がいいという子もいると思う。我々大人が考えているが、中学生も考えをもっていると思う。どのようにして子どもたちの考えを受け入れていくのか。子どもたちの気持ちを考えて統廃合を進めてもらいたい。一番の問題は交通事情で、通学路の道幅が非常に狭い。以前、区画整理課に行った時、区画整理の計画は無いということで、10年後に子ども</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>たちが通学するためのことを考えるのは難しい。子どもたちの気持ちは教育委員会にも考えてもらいたい。</p> <p>先日の台風 19 号の時に野田中学校に行ったのだが、区長さんも心配で来て下さった。野田中学校に避難された方が 142 名いた。私もその場にいたが、区長さんが避難されていた方達から色々と意見を聞いていた。災害時に避難場所としてこの場所が無くなってしまうと、地域としては非常に困る。学校なのでマットなどもあり、地べたに座るよりもずっといいという話であった。新光には地区体育館があり、行ったわけではないが雨漏りがすごいということを知り、避難場所としては使えないという声も聞いた。</p>
委員	<p>資料 3-1 の統合の理由に関する事項について、この資料を掲載した目的としては、まさにタイトルに書いてある通り統合に関する理由付けというか、背景として部活動の問題や学校教育の問題についてお示ししているのだろうと思う。ただ一方で、検討会議における検討事項について、各委員から出てきた意見の中には、そもそも統合は 10 年後でいいのかということや、今いる生徒の活動状況がこのまま 10 年放っておいていいのかということであったり、それから西武中学校を工事している間の生徒の安全であったり、資料の中の検討課題の分類表でいうと、分類表の 7 番の統合時の課題、統合の仕方や進め方や在校生の負担軽減など、前回出てきた部活動や学校の土地はどうなのかというポイントを気にされている方が多いと思った。分類表 2 番の統合の理由に関しては、十分理解はできるが、要は統合の進め方についての議論をここですというよりは、統合に関してはこういうことが理由だということの議論ということでのいいのか。つまり分類表 7 番の統合の進め方、統合は 10 年後でいいのかという議論は別の機会ですというのではいいのか。</p>
事務局	<p>まずこのような資料を今回提供した理由としては、前回の会議の中で、このようなことを確認したいという意見が幾つもあったということから提供した。それと資料 3-2 で統合の理由をまとめたということは、これまでも説明してきたが、改めてこの検討会議では統合を前提としてその課題について意見をいただく場であるので、なぜ西武中学校なのかというところは</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>共通認識として持っていただきたいと考えたため、ここで説明させていただいた。統合が10年後でいいのかということについては、今後の大きな検討課題である。本日、そこまで議論することは想定していなかったが、今後、統合に向けてということで考えると、統合の時期ということについても意見をいただく機会は設けなければならないと思う。</p>
委員	<p>資料の配布状況を見ると分類表の7番は今回載っていないので、次回以降で検討する機会があるものだと思ってよろしいか。</p>
事務局	<p>資料については、現状で用意できているものをリスト化したので、今後、リクエストやこちらで検討するために作成した資料については随時追加をしていく。その中で統合の仕方ということについても、資料にまとめていきたいと思う。</p>
委員	<p>言葉の説明で分からないところがあるので質問したいのだが、資料3-2の④の人口の将来動向の中で、「コンパクトなまちづくりが指向されており」とあるのだが、コンパクトなまちづくりとはどのようなことなのか。また、「長期的な視点からコンパクトなまちづくりが指向されており」というのは、これは誰が指向しているのか、これは入間市としてこういったまちづくりを指向しているのか。</p>
事務局	<p>国の施策としては、コンパクトシティという言い方もしている。先程、説明の中でも少し触れたが、やはり国、地域もそうだが、今後、人口減少は避けられないということが大前提となっている。人口が減少していく中で、まちづくりを考えた時に、これまで人口が増加していた時はまちの中心からどんどん住宅が拡大していった。そういった形でまちづくりが進んできたが、当然それは住宅を開発して、それにより道路や上下水道などのインフラ整備といったものが進んでいくといった状況だった。今後、人口が減少していく中で、郊外にそういった住宅開発を進めていくのかということ現実的には難しい。これが国が示すコンパクトシティの基本的な考え方である。これがまちの中心部に色々な機能を集約して、そこに集住もしていく。これは地域によって状況は随分と異なるが、一つの自治体の中で一か所に集中してというところもあれば、首都圏の中では一つの自治体</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>の中で幾つかの中心地をつくるという考え方もある。それぞれの自治体ごとに違うが、入間市の都市計画としては、市の総合計画の中でも謳われているように、幾つかの地域の拠点を決めてその周りに徐々に集約をしていくという基本的な考え方がある。そういったことを踏まえて、ここではコンパクトなまちが指向されていると記載した。これは国の基本的な考え方であり、入間市もそれをならい、入間市にあったようなコンパクトなまちづくりというものを総合計画、また都市計画マスタープランの中で位置づけをしている。</p>
委員	<p>ここはあまり引っ張りたくないが、最後に「コンパクトなまちづくりが可能であるため、将来的な拡張性も見込める」というのがよく分からない。コンパクトとっておいて広げていくのか。要は仏子駅がこの地区の中心と考えられていて、西武地区の商業施設であったり、教育施設であったりを仏子駅にどんどん集めていった方が、コンパクトなまちづくりができるということを行っているのか。</p>
事務局	<p>基本的な考え方としては、そこを中心にして集約をしていこうという考えである。ただ実際には学校は配置のバランスもあり、すべてを集めるということはなかなか難しいが、基本的な考え方としてはそういったことである。</p>
委員	<p>コンパクトなまちづくりと学校の選択は関係あるのか。そこは論理的に通っていないと思う。ここはあまり引っ張りたくないのも、そういう意見であるということをお伝えしたいと思う。</p>
委員	<p>統合の件であるが、西武中学校が八津池の方の子ども達も入れるような話はないのか。地域を考えて、八津池の子ども達も西武中学校に通えるようにすることはできないか。昔の西武村の役所があったという話は聞いたことがあるが、本当は八津池などの東金子地区の子ども達も通えるように位置付けたような話も聞いたけれど、学区編成のことも考えるのか。</p>
関係部局	<p>この西武中学校と野田中学校の統合に関しては、学区を変更する予定はない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>今の話であるが、私の時代は西武小学校と西武中学校の二校しかなかったため、野田、仏子の子どもも全部西武中学校に通っていた。それと同時に小谷田の生徒も西武中学校に通っていた。今は違うのか。</p>
関係部局	<p>(小谷田地区の生徒は) 現在は東金子中学校に通っている。</p>
委員	<p>先程の生活拠点の商業地について、見る限りでは駐車場しかない。今後、商業地が変わるのか。駐車場ばかり増えて商業施設ができる余裕がないと思う。</p>
事務局	<p>現在は具体的に区画整理を行う予定はない。長期的なまちづくりという視点で、コンパクトなまちづくりを掲げているが、どのように商業地域として整備するのかについて、現在は具体的な予定はない。</p>
委員	<p>この会で我々が言った意見は、計画に反映されるのか。例えば、西武中学校ではなく野田中学校の方がいいといった意見は反映されるのか。10年後ではなく、3年後がいいといった意見などもそうである。我々委員の意見が統一された場合、その方向で計画が動くという可能性はあるか。</p>
事務局	<p>この会の冒頭でお願いしたのは、この計画を推進する上での様々な課題について意見をいただきながら、その課題を解決するような提案をして、検証をすることを前提に考えている。その中で我々が対応策として示すものが、この検討会議の中で指摘を受け、最終的には市の方で判断する。もちろん委員の皆様には、夜分にボランティアで参加いただいており、皆様のご意見は何かしらの形でまとめ、会議の中で決定していただくことになるかと思う。私達としては、基本的には一点目のことをお願いしたい。そのうえで、皆さまの意見が一つにまとまるのであれば、そういった意見を私達、あるいは市長の方に提出していただければよろしいのかなと思っている。</p>
委員	<p>西武中学校を選択した理由を見て思うが、本当に優先されるべき理由なのかが疑問である。避難所であったり、利便性が高いであったり、本当に子どもファーストなのかという疑問がある。多く出ているように通学路の間</p>



発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>題や安全上の問題が出るのは、皆様は最初から分かっていたにも関わらず。それに対する回答が無いまま「これが理由です」と言われても疑問があり、安全性を優先すべきということも分かっているのにも関わらず、これが理由だというのは納得がいかない。</p> <p>今の指摘に対してであるが、計画を今年の3月に策定した。そこで西武中学校を活用する理由を皆様にももう一度認識していただきたく説明をした。この計画をつくった時点でも、まだ通学の問題があることは指摘していただいた。その前の計画案の段階でも指摘をいただいていた。皆様には今回ご協力いただき、その課題についてどうすれば解決できるのか、色々なやり方があると思うし、皆様がそれぞれ考えていることも違うかと思う。そういった意見を踏まえて、もう一度西武中学校を活用する場合の課題は何なのか、それが解決できるのかできないのかということはこの会議の中で検討していただきたく、改めて説明した。計画をつくった段階での理由をお聞きいただき、それに対してはまだまだ課題があるということは認識しているので、それについて皆様の意見をいただき、解決策を探るということをしていければと思っている。</p>
委員	<p>資料 3-2 の防災の件であるが、結局、西武中学校が避難所になるかと思うが、今回河川の問題がクローズアップされているが、土砂崩れの問題もあるかと思う。私の周りの方たちも土砂崩れを心配している方が多くて、そのことを踏まえて、検証の材料にさせていただけると助かる。</p>
委員	<p>中学校に特化されている話であるが、当初3年後に西武中学校が野田中学校に統合されるという話の中で、どちらかという吸収される側の仏子小学校の保護者の意見としては、これで3年後に野田中学校に吸収されて入学すれば子どもたちにとって部活の選択肢が増えるため良いという意見だった。それがひっくり返され、10年後ということになり、西武中学校の方に統合されるのは構わないが、今後10年間の子どもたちの部活の選択肢はどうなるのか。安全のこともそうだが、本当に子どもたちのことを考えているのかと思う。個人的な意見であるが3年後に野田中学校に統合し、その間7年の間に西武中学校を改修し、10年後に西武中学校に移転するのもいいのではないかと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>そもそも一旦市から3年後に統合という案が出されたが、市としては可能という考えなのか。10年後ではなく、3年後に統合できるのであれば今の子どもたちにも統合の恩恵が受けられるのではないか。その辺りも事務局の方で一意見として取り入れていただけたらと思う。実際に保護者に聞くと、統合自体に反対している保護者は少ない。統合するのは構わないがどちらに統合されるのか、今いる子どもたちはどうなるのかという点が心配されているところである。10年後に拘るのではなく、そういったことも検討していただければありがたい。</p>
委員	<p>以前、仏子小学校に通う子どもに西武小学校に統合されるのはどう思うか聞いたことがある。この地区の子どもたちは、幼稚園も保育園も大体同じところに通い、小学校に上がる時に分散してしまう。またその時の友達と会えるならいいということは子どもながらにも言っていた。</p>
委員	<p>今のところ西武中学校に統合される案が市から示されているので、この会で話し合うが、当然、今回の意見で市としても考えてくれると思うので、西武中学校一本ではなくて、一つになるにしても色々な意見を聞きながら、どちらにしても安全面などの意見は出てくると思うので、統合ということに対しての課題を洗い出していきたいと思う。</p>
事務局	<p>今、出された案について、委員の皆様からの意見ということで持ち帰らせていただき、検証できるような資料等も用意していきたいと思う。ただ我々も今回、台風19号の被害の関係で顕著に感じているところは、仏子側の避難所としての西武中学校も必要だと感じた。実際に西武中学校にも相当数の方が避難してきた。川の両側に避難所があるということの重要性は感じている。川が増水した時に橋を渡って行くというのは、かなり厳しいということは我々も感じているため、今、一時的な流れの中で、対応をどうすべきかということもあわせて検証しなければならないと思う。この案ですぐに良いということではなく、色々な面からも検証しなければならない部分もあるので、その点をご理解いただきたい。</p>
委員	<p>先程、災害ということで野田中学校だけが避難場所ではないと思う。協定を結んで、武蔵野音楽大学もあると思うし、あんず幼稚園もあるし、図書</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>館もあるし、いろいろな災害拠点を検討すれば避難場所はもっと確保されると思う。ただ、野田中学校、西武中学校だけではなく、野田中学校は湿地だったところに建てたのだから、土砂災害や何かがあったときに市として活用できる場所、音楽大学や図書館や保育所もあるし、協定を結んで対応していけば良いと思う。災害拠点として、市として協力体制を構築していけばいいと思う。</p> <p>②通学上の課題に関する事項</p> <p>まず自転車通学について、以前は西武中学校しかなかった私たちの時代は国道 299 号より北側の新光方面の生徒が自転車通学で、仏子、野田の生徒は自転車通学ではなかった。この先もそのような形になるのか。金子中学校が 2km で、武蔵中学校が 1.5km というのは市が決めているのではなく、学校が決めているのか。</p>
事務局	<p>資料 3-3 の自転車通学に関する質問だと思うが、基本的に自転車通学の許可については学校ごとの判断になる。ただ、西武中学校と野田中学校の統合に関しては、資料の下の流れにもあるとおり、ある程度こちらで原案を練るが、通学上の安全の問題は当然大切であるので、意見をいただいた上で原案を作っていく。</p>
委員	<p>先ほど委員の方から配布していただいた資料の写真もそうであるが、中橋から登っていくところも 40 年以上道幅が変わっていないので、ここ 10 年で何とかできるのかが疑問である。白髭神社に渡って行く方も 40 年、50 年変わっていないので、この先 10 年で変わるのだろうか。</p>
事務局	<p>今、具体的の中橋から国道 299 号までの道路、またその途中から白髭神社の方に行く道路について、通学路として整備できるのかという質問だった。実際には道路を拡張することはなかなか難しい。この検討会議の中でも、道路を拡張できない場合に、安全性を確保する方法について意見をいただきたい。その中でできることはないのかという意見も出てくるかと思う。市の方でも検討することになるかと思うが、すべての道路を拡張することは現実的にはなかなか難しいと考えている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>私たちの時代は、今の道幅で仏子も野田も通学していた。西武中学校に通うために野田、新光の生徒は自転車や徒歩で狭い道路を歩いてきた。当時は今のように安全対策はなく通っていたので、別に問題視するほどのことでもないのかなと思うが、昔に比べて交通量が違うし、無謀な運転をする人もいるし、不審者も当時より多いと思う。そういうことを考えるとスクールバスを通すことも考えていただきたい。その場合は、登校時だけでなく、下校時にも必要となる。西武バス（路線バス）の定期券で、生徒には市が定期券を無料で発行することも必要である。でもそれは一般の人と一緒になので、その中に不審者がいるとか、事故に巻き込まれても大変なので、そのあたりをどうするのが課題だと思う。</p>
事務局	<p>今、様々な点についてご意見をいただいたが、まさしくそういったことをこの検討会議の中でご意見をいただいたり、ご指摘をいただいたりする。スクールバスの活用であったり、路線バスの活用であったり、メリットもあればデメリットもある。今のご指摘の中にもあったと思う。どこまでが許容範囲なのかということもあるかと思うし、昔と今の違いという点でも道路の交通事情が変わっているかと思う。生徒の数も違っていると思う。そういったことも含めて、現状がどのようになっているのか、前回の会議の時には通学路の課題というのは調べて報告したが、今後、実際に通学している状況も確認したうえで、どういう問題があるのかということも共通認識をつくって、またそれに対してご意見をいただくということも続けていきたいと考えている。</p>
委員	<p>野田中学校が今年 30 周年になるが、当然それよりも前には皆様西武中学校に通っていた。その時には自転車通学があって、新光に住んでいる方に当時どうだったかという意見を色々聞いた。西武 8 区、仏子ニュータウンの集会所のところはバス通りであるが、その集会所より北側の生徒が自転車通学だったという人もいれば、地区体育館より北側が自転車通学だったという人もいた。今、国道 299 号より北側という人もいたので、いったいどれが正解なのかなと思うが、一応、当時の方に聞いてみるとそのような感じであった。国道 299 号より北側というのと、集会所より北側というのでは、距離でいうと相当違う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>私たちの時代は新光からの自転車通学は一人だったので、国道 299 号から北側と言った。</p>
委員	<p>通学路というと、明日、野田中学校ではちょうど音楽会を音楽大学のバッハザールで行う。8時半には生徒たちが集合する。ちょうど車の通りが多い時間に野田中学校の生徒たちが上橋、中橋を渡って音楽大学を目指すので、多分、雨で傘をさしていくのかもしれないが、明日視察できる状況の方がいれば、どういう状況なのか見ていただいて、参考にさせていただきたいと思う。</p>
事務局	<p>本日の資料の 1 ページ目の学校統合地区検討会議の資料の中の分類表の「分類」というところをもう一度お示ししたいと思うが、第 2 回会議のときにも皆様からこういった情報はどうなっているのか、資料にまとめて欲しいというところから提示をさせていただいている。本日もバスの通学のことや自転車通学のことについては、ご意見は色々な分野から出てきており、それを資料として提供するうえで、これはこういった分野の資料であるということを理解していただくために、この分類表を作成した。従って、本日提供している資料は、分類 2 の統合の理由と分類 5 の通学上の課題を検討する資料として、これまでいただいた資料を分類して出している。また、防災のことに関しては、地図の資料を配布している。従って、今回以降も今回ご覧いただいた資料の他、この分類表に基づいて、例えば通学上の課題というものを議論するためにどんな資料が必要なのかということピックアップしている。それをできる限り検討会議の中で提供させていただくので、この資料は通学上の課題について議論していただくためにこの資料を追加で出してもらいたい、という検討会議の運営を今後してもらうための資料である。様々なご意見が出てきて整理をすることが非常に難しいと思っており、ぜひともこの会議の中での分類の資料なのだとおっしゃることを皆様方の中で整理したうえでご理解いただきたいと思います。本日もいただいたバスや自転車のことについては、今後、通学上の課題ということで我々の方で資料ができ次第提供し、それ以外の防災対策については先程ご説明した通り台風 19 号の総括及びそれに関する見直しの中で行う予定なので、本日は次第に沿って進めさせていただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>登下校の道に関する事項が多く出る中で、地図をいただいてから最近、個人的に気になっているのが踏切のことである。踏切を渡るにせよ安全に渡って欲しいと思うが、中学生なので慌てる子もいると思う。先程、明日、野田中学校の合唱祭が行われるということも聞いたため、どうなのかというのは興味があるし、行事であれば教職員もいくらかでも指導ができるかと思うが、統合した際には、生徒たちも部活動を一所懸命やると思うし、朝早くに登校する生徒も出てくるかと思う。そういった時に踏切が少し怖いなと保護者としては思った。例えば、仏子駅の北側に歩道橋があるが、あれをもっと充実させることは可能なかと思った。現時点では自転車を押して渡るようなスロープがついていなかったと思う。より多くの生徒が渡ることになると思うので、例えば歩道橋自体を大きくすることはできないのかとか、予算のことは分からないが、自転車を押して渡ることが可能であれば行き来がしやすいと思う。スロープを付けたら付けたで、自転車に乗ったまま下る生徒も出てくるかもしれないが、そういうときりがないが。それともう一点、遠方の生徒のためのバスの活用についてであるが、スクールバスの活用ということは以前から出ている中で、私は新光在住であるが、もし自分が中学生だったとして、スクールバスが出ていても恐らく乗らない。それはいいタイミングでバスに乗れないからである。恐らく費用も相当かかるし、それならば西武バス（路線バス）に自由に乗らせて欲しいと思う。恐らく自転車通学が認められて、自転車通学をするだろうが、どういうときにバスに乗りたいかということ、大荷物の時や悪天候の時。行きは晴れていたが、帰りは大雨の日などである。部活に熱が入ってしまって帰りが遅くなってしまった日もそうである。そういったことが起こりうるのかなと思う。民間のバスをフリーバスで使わせてもらうというのは個人的には良いと思う。</p>
事務局	<p>その点についても検討して、何かしらの資料を用意したいと思う。また、公共のバスの利用についてであるが、バスの収益が厳しくなっており、本数が減少している。そういった意味でも公共バスの利用というのは、政策的な効果が見込めると思っている。バス路線を維持するためにも、そういった利用ということは考えられると思っている。資料としては他の自治体の事例などは用意することができると思う。また、線路の上を通っている歩道橋は跨線橋ともいうが、ご指摘のとおり、自転車が渡れるようにはな</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>っていない。跨線橋の架け替えについては、西武鉄道との協議ということも当然出てくるので、可能性について十分に検討する必要がある。西武中学校を前提とした議論の中では、通学路がどこになるのか、線路を渡るところがあるのか、または跨線橋を渡るルートになるのか、これらのことがデータとして示されたところで、それに付随する踏切を渡る時の対応策として、どうしても渡る都合があるならば、手段の一つとしてはガードマンを両側に配置するというのも安全対策の一つになるかと思うので、そういったことも選択肢の一つになると思うし、様々な部分を考えながら、今後の資料の中で提供していきたい。</p> <p>今後とも資料を作成していくと言ったが、結局のところ仏子小学校は西武小学校に統合されるのか。仏子小学校の児童が中橋を渡って西武小学校まで通ってくるのか。野田中学校の生徒が中橋を渡って西武中学校に来ることになる。学校の時間は恐らく同じだと思うので、小学生と中学生が行き交う時間が必ず出てくると思う。さらに仏子小学校の児童が歩いてくると思う。今、意見は中学校よりになっているが、仏子小学校の方からも児童が来るということも頭に入れて考えていただくと助かる。小学生の方がいきなり飛び出したりする。先程、ガードマンという話もあったが、結局、PTAの保護者が当番でやっているのも負担にもなると思うので、そのあたりのことも考えていただくと助かる。</p>
事務局	<p>これから通学路の課題というところで、実際の通学状況を確認したいと思うが、今後の課題として、小学生と中学生が行き交うというのが大きな課題だというご指摘だと思うので、課題の一つとして盛り込みたいと思う。</p>
委員	<p>資料をたくさん用意していただいているが、問題点が市としての安全策の方向性というものが今後示されるのか。それが話し合いの基準になるかと思う。先程、原案があって、学校と話しをして、検討会議という話があったように、市としての原案があると考えてよいか。</p>
事務局	<p>現在はまだ課題の抽出の時期だと考えている。先程の小中学生が行き交うということは、我々もそこまで拾い出していなかった。課題の抽出があって、解決策の提示するところまでは我々としてもやっていきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	近いうちに原案は出されるか。
事務局	<p>タイミングがどこの段階でできるのかというのは、我々としてもまだ一つ一つの課題とそれに対する資料作りに動いているので、それが進むにつれて、資料分析ができたところで、次にどのような課題解決方法があるのかを考えることになるので、今の段階では我々としては課題解決の色々な選択肢というのは目に浮かんでいるが、原案を示すところまでは至っていない。それがどの段階になるかというのは、皆さまと課題抽出しながら、資料を用意しながら、すべての課題について答えを用意できるのではなくて、その中の一つはできたから提示するという流れになるので、いつになったらそれができるかというのは見えていない。ただ、こちらの活動として1年間あるので、中盤以降、皆様の議論もどんどんステップアップしなければと思っている。前半の段階ではまだ課題の抽出、そしてそれに対する資料提供というのが主になってくる、もちろん平行して、課題の解決方法については検討しているが、それが市として皆様に提示できる状況になるのは中盤以降になるのかなと考えている。</p>
委員	<p>スクールゾーンについては、中学校は対象外ということであるが、小学生も通学する部分については、交番の前からは西武小学校も500メートル以内だと思うので出来るのかなと思う。いただいた資料の歩道を小学生が通るのは狭いし、今はバスも通っていてより危険なので、現在、仏子小は郵便局のところを曲がって小学校に来ているが、途中の信号を交番の方に曲がって中橋を通ってくれば安全に来ることができるので、ぜひ仏子の交番の前はスクールゾーンになるように努力していただければと思う。</p>
委員	<p>スクールゾーンを設置すれば、当然人の流れも変わってくるので、警察に要望を出すこともできると思う。幼稚園の方でアンケートを取ったり、地域の方にも意見を聞いていただいている。なるべくこの場でもらったり、文書でもらったりして、時間に限りがあるので、市の方に出したいと思うので、意見をまとめてきてもらえると助かる。市や警察の担当者にも出席していただき、話を進めていきたいと思う。</p> <p>(3) 次回検討事項説明</p>



発 言 者	発 言 内 容
	(発言なし)

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和元年 12月 2日</p> <p>会 長 の 署 名 <u>吉田賢紀</u></p>	